泌尿紀要 第12巻 第6号 昭和41年6月30日 発行（毎月1回 月末発行）昭和34年12月2日 第3種郵便物認可

Vol. 12, No. 6 Acta Urologica Japonica June, 1966

LIBRARY K医 44.58 KYOTO UNIV.

泌尿器科紀要

第 12 巻 第 6 号 昭和 41 年 6 月

随想 小児腫瘍患者の想い出……千野 一郎…519
上部尿路感染に関する2，3の統計的研究
Ⅰ．尿路の感染菌ならびにその抗生物質に対する感受性について
……岡 直友・長谷川 進…521
上部尿路感染に関する2，3の統計的研究
Ⅱ．上部尿路結石症の感染状態……岡 直友・長谷川 進…535
泌尿器科領域におけるリンパ系撮影法の研究
第Ⅱ編 造影剤の代謝に関する検討……伊藤 鉦二…543
泌尿器科領域におけるリンパ系撮影法の研究
第Ⅲ編 リンパ系撮影法施行前後における血中腫瘍細胞の検討……伊藤 鉦二…549
小児の膀胱葡萄状肉腫の2例……近藤 厚・宮崎 重・清水 純・鍬塚 寿…562
フラダンチン 50 mg 錠の使用経験……田村 一・中村 宏・川村 猛…569
新綜合止血剤 Coagumin 使用による止血効果について……久世 益治・柏木 崇・大北 純三・小宮 俊秀・仁平 寛巳…576
前立腺肥大症に対する Eviprostat 使用経験……後藤 薫・木村泰治郎・磯貝 和俊・西 守哉・大谷 文茂…583
ヘマスティックスの使用経験……夏目 修・渡辺 昌美・塩 暢夫・川村 俊三・小津 堅輔…593
尿路感染症に対するスペクチノマイシンの使用経験
……重松 俊・江藤 耕作・高田 千年・樋口 正士…602
泌尿器科領域におけるパンフランSの使用経験
……木村泰治郎・大谷 文茂・田村 公一・劉 自覚…606
編集後記・購読要項・投稿内規……610

Some Statistical Studies on Upper Urinary Tract Infections.
I. Infectious Organisms and their Sensitivity to Antibiotica in Upper Urinary Tract Infections.……N. Oka and S. Hasegawa…521
Some Statistical Studies on Upper Urinary Tract Infections.
II. Infections in the Upper Urinary Tract Lithiasis.
……N. Oka and S. Hasegawa…535
Studies on Lymphography in Urology.
Part II Studies on Movement of Contrast-media in Dogs (I-131 Labelled Popiodol).……S. Itoh…543
Studies on Lymphography in Urology.
Part III Studies on Appearance of Tumor Cells in the Blood Before and After Lymphography.……S. Itoh…549
Two Cases of Sarcoma Botryoides of the Bladder in Children.
……A. Kondo, S. Miyazaki, J. Shimizu and H. Kuwatsuka…562
Use of 50 mg Enterocoated Tablets of Furadantin in Urinary Tract Infections.……H. Tamura, H. Nakamura and T. Kawamura…569
Hemostatic Effect of "Coagumin" in Clinical Use.……M. Kuze, T. Kashiwagi, J. Okita, T. Komiya and H. Nihira…576
Use of Eviprostat on Hypertrophy of the Prostate.……K. Gotoh, T. Kimura, K. Isogai, M. Nishi and F. Ohtani…583
Clinical Experiences of Use of Hemasticks.……O. Natsume, M. Watanabe, N, Shio, S. Kawamura and K. Ozu…593
Use of Spectinomycin for Urinary Tract Infections.……S. Shigematsu, K. Eto, C. Takada and M. Higuchi…602
Use of "Panfuran S" in the Field of Urology.……T. Kimura, F. Ohtani, K. Tamura and J. Ryu…606

泌尿紀要
Acta Urol. Jap.

京都大学医学部泌尿器科学教室
Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto, Japan
Editor : Prof. Tsutomu INADA

編集後記

インターン　ノ意義　目的ハ　現在デハ　判ツテイルヨウデ　実ハ　ハツキリシテイナイノデハナカロウカ．コノ制度ガ始メラレタノハ　米国ノ指令ニヨツテ　米国ノソレヲ真似タヨウナモノデアツテ　大学生トシテノ教育ダケデハ不充分ナノデ　卒業後ニ　全科ノ実地修練ヲ1カ年行ナイ　ソコデ国家試験（厚生省試験）ヲ受ケ　合格者ニ医師免許証ヲ与エルトイウモノデアツタ　初メハ基礎医学ノ試験モアツタ　ソノ後　段々ニ変化ガ加エラレ　現在ノヨウナ形ニナツタ．現在ノヨウナ形トイツテモ　必ズシモ一定シタモノデナク　実施法ハ大学ニヨツテ異ナリ　厚生省モ　コノ形デナケレバナラヌトモイワナクナツテイル．例エバ　臨床ノ全科ヲ廻ルモノ　数科ヲ廻ルモノ　所謂ストレート方式トイウモノモアル．初メハ　全科ヲ廻ルノデアツタガ　コレハ将来　何科ヲ専攻スルニシテモ　臨床全般ニ就テ知ツテオクノガヨイトノ考エデアツタ．ソレハ確カニ意義ノアル事デアル．内科ヲ専攻シヨウトスル人ガ　外科ノ事ヲ知ツテイル事ハ　ムシロ大切ナ事デアルトモ考エラレル．ソレガ　ストレート方式トイウ事ニナルト　内科ヲ専攻スル者ハ　他科ノ事ハ知ラナクテモヨイトノ考エニナル．コレハ　インターン　ノ本来ノ意味ニ反スル事ニナル．内科ヲ専攻スルナラバ　入局後ニ　内科ハイクラデモ勉強出来ルノデアルカラ　ソレ以前ニ　インターン　ニオイテ　他科ノ事ヲ知ツテイルノハ　ムシロ　有利デアルトモ考エラレル．コノヨウニ　インターン　ヲ如何ニ運営スルカトイウ事ガ決ツテイナイ．コレハ　インターン　ノ根本ノ意義　目的ガ不明確デアルカラデアル．ソレガ明確デアルナラバ　ソノ目的ニ沿ウヨウニ　インターン　ノ運営方式ハ決マルワケデアル．先ズ　インターン　ノ意義　目的ヲ明瞭ニスルベキデアル．然ラバ　ソノ内容方式ハ自ラ決マルデアロウ．

大学卒業ト同時ニ国家試験ヲ行ナウトイウ案モ変ナモノダ．コノ時期ニハ　マダ　インターン制度ノ中デ最モ重要ナ実地修練ヲ受ケテイナイ．ソノ時ニ国家試験ヲ行ナツテ合格者ニ医師免状ヲ与エルトイウノハ理屈ニ合ワヌ　マタ　コノ時ハ　大学ノ卒業試験ヲ受ケタ直後デアルカラソレト重複スル事ニナル．更ニ　ソノ試験後ニ実地修練ヲ受ケルワケデアルガ　ソレガ　確実ニ有効ニ行ナワレルカ　ソレヲ如何ニシテ証明スルカトノ問題ガ残ル（昭和41年6月）

購読要項

1．発行は毎月（年12回）とし，年間購読者を以て会員とする．

2．会員は年間予約購読料金 1,500円を前納する．1冊料金 150円．払込みは振替口座番号京都4772番　泌尿器科紀要編集部，或は第一銀行百万遍支店宛．

3．入会申込みは氏名（フリガナ），住所（雑誌郵送先），勤務先，職地位，自宅開業の別，送金方法を御記入の上編集部宛．

投稿内規

1．原稿の種類は綜説，原著，臨床報告，その他．寄稿者は会員に限る．

2．原稿の長さは制限しないが簡潔にする．

3．原稿は横書き，当用漢字，平仮名，新仮名使いを用い，片仮名には括孤を要しない　400字詰原稿用紙を用いること．附表，附図はなるべく欧文にすること．

4．文献の書式は次の如くする．著者名：誌名，巻数：頁数，年次．

例．1）中野：泌尿紀要，1：110，昭30．2）Lazarus, J. A. : J. Urol., **45**：527，1941．

5．欧文抄録を記し，之には欧文の標題，所属機関名，ローマ字著者名を附け，なるべくタイプライターを用いること．希望の場合は当編集部にて飜訳する．抄録用の原稿を送ること．飜訳の実費は申受ける．

6．掲載料の著者負担は4頁迄毎頁 600円，それ以上の頁，アート頁，図表，写真，欧文組版等は実費を申受ける．別冊20部を無料贈呈，それ以上は実費を徴収する．予め希望部数を申込むこと．特別掲載も考慮する．

7．校正は初校のみ著者校正とし，再校以降は編集部が行う．

8．原稿送り先は京都市左京区聖護院　京都大学病院　泌尿器科紀要編集部宛，書留便．